

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2291200034		
法人名	株式会社ユニマツリタイアメント・コミュニティ		
事業所名	御殿場ケアセンターそよ風 (箱根・富士 2ユニット合同)		
所在地	静岡県御殿場市萩原122-13		
自己評価作成日	平成28年1月8日	評価結果市町村受理日	平成28年2月19日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigvoCd=2291200034-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構		
所在地	静岡県葵区材木町8番地1 柴山ビル1F-A		
訪問調査日	平成28年1月24日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者様お一人おひとりに合わせた機能訓練や役割を持っていただく事で、機能低下の防止、張り合いのある生活を送っていただけるよう支援しています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

介護度3、室内での車いす利用は4名、戸外活動では12名と、開所から9年目に入り緩やかに重度化へ向かうなか、事業所としての外出支援が難しい状況となっています。それでもゴミ出しを日課とし、ペランダでの外気浴と細目に戸外の空気に触れ、歩行訓練を午前と午後定時に組み込んでいます。また家族も「(車いすは)小さいタイプなら私の車にも搭載できるかな」と協力的です。家族会が年4回あり、「16:00開始に15:00から訪れる人も多い」とのエピソードは親和を物語り、集いでは家族が単独で付き添ううえでの介助留意点が職員から丁寧に解説され、三位一体の相互支援が輪廻しています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	職員全員で作った理念は、共有し、実践に繋げている。	事業所独自の理念に基づき毎年目標を作成しています。本年は「入院させない」を掲げ、高い気づきと速やかな動きを以て健やかに過ごしてもらえるよう努め、ひやりハットの提出も格段に増えています。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域行事にはなるべく参加させていただいている。近隣の方とは、散歩などで日常的に挨拶を交わしている。	近くの保育所との交流はつながりなく続き、遊戯披露の慰問のほか散歩では転げまわって遊ぶ姿に再会でき、利用者の元気の素となっています。近隣からの相談が直接入ることから事業所が信頼され溶け込んでいることが覗えます。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域包括や民生委員さんを通じて、地域の活動に役立つ事はないかを話し合い取り組んでいる。また、家族会などでは、介助方法や認知症の方の対応などを相談される事もあり、答えている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、2ヶ月に一度は必ず行い、現状報告、話し合いを行い、サービス向上に活かしている。	従前から事業所への信頼があったため、家庭の事情による緊急入所を受け入れることができた例について報告したり、高齢者の交通事故多発ニュースを受け対策案を意見交換するなど、白熱した論議がおこなわれています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市役所は近隣にある為、日頃から連絡を取り、分からない事、協力してもらいたい事などを伝え、関係を築いている。	年2回は運営推進会議にも市職員が足を運んでくださり、感染症等注意喚起の電話も入っています。マイナンバーの取扱いについても地域包括支援センター職員から解釈説明があり、行政手続きの適正化につながっています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修を積極的に受け、内部研修で職員全員への落とし込みを行い、身体拘束しないケアに取り組んでいる。	玄関はインターフォンとモニター対応で施錠があり、ユニットも状況に応じてロックすることがありますが、法人主催の研修や、認知症への研修会に参加し、理解することで抑制しないケアにむけています。委員会活動には身体拘束排除も位置付けられ職員のなかに責任者がいます。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修を積極的に受け、内部研修で職員全員への落とし込みを行い、虐待防止に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修会への参加、施設内の勉強会などで話し合い、理解を深められるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約、改定等は、十分に説明し理解していただいている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や運営推進会議などで話し合い、運営に反映している。	家族会が年4回あり、「16:00開始に15:00から訪れる人も多い」とのエピソードは親和を物語っています。集いでは交流だけでなく、家族が単独で付き添ううえでの介助留意点が職員によって伝達されています。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	全体会議、ユニット会議などで話し合い、運営に反映している。	委員会議は広域で横断的活動が敷かれているため名古屋の金山までの出張もあり、職員の自律が養われる仕組みがみられます。「此処のいい点は」と尋ねると「人間関係のよさ」と即答があり、安定感が伝わります。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年に数回の個別面談を行い、個々の努力、実績などを話し合い、向上心を持って働けるよう、評価をしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修を受け、施設に持ち帰った資料を配布し施設内研修で落とし込みを行い、知識を深めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	法人内の研修、会議に参加したり、市主催の連絡会などに参加し相互交流を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人が困っている事、不安な事、要望等を聞き安心した生活が出来るよう、関係作りに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の困りごとや不安に思っている事に耳を傾け、要望等に応えられるよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	管理者、計画作成担当がご本人の必要としているサービスを見極め、サービスを検討している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	一方的な介護ではなく、共同生活の中で関係を築けるよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族からの情報を頂き、ご本人の状況を報告しながら、共にご本人を支えていく関係を築けるよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族や友人などの面会は制限せず、いつでも来ていただいている。	「(車いすは)小さいタイプなら私の車にも搭載できるかな」と家族が積極的に外へと誘ってくださいます。また緑深いお茶は静岡人の習慣として、現在の管理者が着任してからは日本茶も良質なものが提供されています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	一人ひとりが孤立せず、関わり合い、支え合えるような支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても、必要に応じてご本人、ご家族のフォローをし、相談、支援に努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや要望は、日常の会話から聴き、実現に努めている。職員間の情報共有を行っている。	「他の利用者に迷惑になるかも」との他害行為は「言えない人」「動けない人」に向かうことになるため、管理者がリーダーシップを発揮するとともに職員間で周知してチームワークを高めての目配り、気配りが慣行されています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族、ご本人からの情報で把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	心身状態、有する力等の把握に努め、職員間で情報共有している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族、関係者と話し合い、それぞれの意見を反映し介護計画書を作っている。	正職は居室担当の役割とともにモニタリングをおこない、3ヶ月毎に支援経過と自らのケアサービスを自己評価することで、プランの実践を確かなものとしています。サービス担当者会議には家族の出席を求め、意見を反映させています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	月に一度の支援経過、3ヶ月毎のモニタリングを元に職員間で話し合い、計画書の見直し、変更を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人、ご家族の要望、以降に沿った形で柔軟に支援に努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	ご本人、ご家族や近隣の民生委員さん、地域包括から情報を提供していただき、地域行事に参加、交流させていただいている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の訪問診療があり、日々の健康管理が出来ている。また、かかりつけ医への受診は、ご家族が対応され、いけない時は、管理者が対応している。	協力医の往診が月2回ありますが、午前のみ勤務の看護師が立ち会えないため管理者がつなぎ役を担っています。看護師の質問を受けることで職員は利用者の現状を整理でき、情報は個人毎に看護記録に記載されています。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	DSと兼務の看護師がいるので、個々の状況を伝えて対応してもらっている。また、協力病院の担当看護師が急な受診など対応してもらっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力病院の担当看護師、SWとの情報交換を密に行い、治療内容、退院時期、退院後の対応など細かく伝えてもらうなど良好な関係が出来ている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に十分説明している。終末期のあり方についても状況に応じ、話し合っている。必要に応じ、往診時にご家族に同席いただきDr. に説明していただいている。	終末期の実績はありませんが医療加算もとり、連携体制は備わっています。看護師による応急手当の勉強会のほか、消防署の救命講習は全職員が履修経験があり、今3月に期限切れとなるため再びの受講を予定し「急変時への適切な対応」に備えています。	離職率が少なく事業所としても看取り実績がないため、職員のなかに経験者が少ないことがやや気になります。先んじて勉強会を進めることを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時マニュアルは掲示してあり、年に数回、研修を行っている。毎年、数名が救命講習を受けられるようにしている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の防災訓練、地域の防災訓練にも参加させていただいている。	自然災害と夜間を想定して、本年度分の法定訓練は実施済みです。東日本大災害での電力量削減の折には低体温の症状がでてしまった反省を踏まえ、ホッカイロやコンロの備蓄を増やすなど、年々の工夫を確認しました。	水消火器をはじめそれぞれのメニューを職員が万遍なく体験できるようチェックをおこなうことを期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけ、対応に努めている。	当たり前のことが全てできているわけではありませんが、「見たら即言う」率先垂範の管理者によって厳しいしつけがあります。一見離職が心配されるやりとりですが、職員は「ついていきます」との姿勢がありラポールが感じられます。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の思いを受け止め、自己決定できるよう支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切に、個々の希望にそった過ごし方を支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	起床時、外出時など整容などの支援、定期的に散髪なども行っている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の好みなどを聞き、また、季節の物やバランスを考え提供している。出来る方には、一緒に調理してもらい、食事、片付けも一緒に行っている。	月～金の昼食は階下のデイサービスの調理品が届いています。中華バイキング、あったかお鍋の日、郷土料理の日、美食まつり他、七草粥といった行事食も盛り込まれ、質・量ともに潤沢で目を見張るものがあります。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量は毎食記録し、栄養バランスを考えた食事を提供している。一人ひとりに合わせた形状と食事量の減っている方には、高カロリー食品、むせのある方にはゼリー飲料を提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアは行っている。出来ない方は、介助し、義歯は毎夜消毒している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	一人ひとりに合わせたトイレ誘導、介助を行い不快なく過ごしていただけるようにしている。	「どこに掴まるか」といった本人の動きや症状を見定めて、3箇所あるトイレの造りに因って選んでいます。2人介助で支援することで立位がままならなくてもトイレできている利用者もいます。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	緩下剤を服薬しなくても排便があるよう、食物繊維を多くとってもらったり、適度な運動をしてもらっている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	なるべく希望に沿って入浴してもらっている。入浴剤を使用し、季節によっては、菖蒲やゆずなども入れて楽しんでいただいている。	清潔保持のめやすとして1日おきですが、希望があれば毎日も対応可能で、体調により回数足りなく休浴の日曜に利用の人もいて、本人本位でおこなっています。皮下出血をはじめ身体状態の変化も見逃さず注意しています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの習慣、その時の状況に応じ、休息や睡眠をとっていただいている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの服薬してい薬剤情報を共有し服薬支援、症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	暖かい日には、近所に散歩に出たり、コンビニ、スーパーに買い物に行くなどしている。毎日のごみ捨ては、役割となっている。ご家族の協力でお墓参り、法事などに出掛ける方もいらっしゃる。	ゴミ出しを日課とし、ベランダでの外気浴と細目に戸外の空気に触れていますが外出頻度を上げることはできていません。それでも歩行訓練が午前と午後定時にあり、思い立っての小グループでの花見ドライブなどがおこなわれています。	頻度が上がらない理由として①ADLの低下②車いすの数③利用者本人の気持ち④年間計画に位置付けられていない、があります。④は事業所の今後の努力を期待します。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物に行った際は、ご自分の好きな物、必要な物を選び、ご自分の財布から支払えるよう支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話をしたり、手紙のやり取りができるよう支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	不快や混乱を招くような刺激がないよう配慮し、居心地良く過ごせるように努めている。	ソリーションウォーターろ過機により日々清浄な空気が流れるなか、珈琲のドリップを落とすときの香りがまったりとして寛げる人も多く、珈琲給仕は愉しみの時間です。壁面の装飾や作品展示をしないようにしていますが、「少しでも明るさを」との職員努力が至る面に滲みます。	全体に5Sが行き届いているからこそ次の点に目がゆきましたので、早期の是正を期待します。①天井のエアコンに付着した汚れ ②居室ベッドの下やデッドスペースに溜まった埃
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人で過ごしたい方は、自室に行かれたり、共有空間にあるソファで休まれる方もおり、思い思いに過ごす事が出来ている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に持ってきた物、ご家族が持ってこられた物で、その人らしい居場所を作ってもらっている。	窓が広く採光が豊かで冬でも温かく、臭いありません。ベッドとクローゼットが備わる居室への持ち込みは少なく、近年入居した人の部屋にはテレビがあった程度ですが、その分家族写真や目覚まし時計などに存在感がありました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの出来る事、分かる事を活かし、出来るだけ自立した生活ができるよう支援している。		